

# 会 議 録 (要旨)

会議名	田川市新中学校のあり方に関する審議会 第1回会議
開催日時	平成26年10月20日(月) 10時～12時
開催場所	田川市民会館 講座室1-1
出席者	(委員) 神谷委員、四戸委員、大宅委員、二場委員、兒島委員、穂山委員、 浦野委員、加治委員、森委員、財津委員、崎原委員 (事務局) 尾垣教育長、犬丸教育部長、小林学校教育課長、大峯教育総務課長、 山本生涯学習課長、大久保学校教育課主任

審議事項	審議内容
会長・副会長の選任	<b>【事務局の説明】</b> ・ 審議会設置要綱に基づき、委員互選で会長・副会長を選出するよう依頼  <b>【決定事項】</b> ・ 神谷委員を会長、大宅委員を副会長に選任
会議録の公表について	<b>【委員の質問・意見】</b> ・ 委員から会議録の公表の仕方を決めておくべきとの提案あり  <b>【決定事項】</b> ・ 会議録は要点筆記、発言は無記名とする。会長及び委員一名(持ち回り)で内容を確認・署名を行ったのち、ホームページで公開する。
審議会の結論の時期について	<b>【委員の質問・意見】</b> ・ 委員の任期は所掌事務が完了するまでとなっているが、審議会が結論を出す時期をどう考えるべきか。来年4月に統一地方選があることを踏まえ、3月を目処に中間報告を行い、選挙後の新体制発足後に結論をだすべきではないか。
[審議資料1] 審議会について ※審議資料は別途掲載しています	<b>【事務局の説明】</b> ・ 審議会の設置目的は、中学校の再編を契機に、田川市の将来を担う子どもたちに最良の教育環境とは何かを考え、教育委員会に提言するためである旨を説明。  <b>【委員の質問・意見】</b> ・ 学校選択制の採否が審議項目の一例に挙げられているが、どんな制度か。  <b>【事務局の回答・意見】</b> (学校選択制について) ・ 本来居住区により通学する学校が決まっているが、保護者の申請(選択)により当該校区外の学校へ通える制度のことである。

審議事項	審議内容
<p>[審議資料 2] 小規模校の課題</p>	<p><b>【事務局の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育における標準的学校規模（学級数）及び小規模学校について説明。小規模校で起きる児童生徒の課題や教職員指導体制の課題を提示。</li> </ul> <p><b>【委員の質問・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今まで適正な通学距離の基準が小学校4km、中学校6kmとされていたが、国はこれに代わる新たな基準（スクールバスを使った通学時間の基準）を検討中のと報道がある。新たな方針が出たら審議会に説明してほしい。</li> <li>・ 学校再編と言えば、財政難が理由に捉えられがちだが、学校の数が多いほうが地方交付税が多く入ってくる。学校数が減ると一時的には市の収入は減るが、それでも教育環境を充実させることを優先させるという議論にしていきたい。</li> <li>・ 市郡での中高一貫校設立の報道があっているが、審議会では、中高一貫校や小中一貫校と、中学校再編とをあわせて議論していくのか。それとも中学校の再編だけを考えればいいのか。</li> </ul> <p><b>【事務局の回答・意見】</b></p> <p>（中高一貫校、小中一貫校との関係について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中高一貫校設立についての現状は、組合立中学校設立の議論から組合立中高一貫校の議論へシフトした状況。それに伴い協議組織の改編が議論されている段階である。学校設立の具体的な議論には至っていないので、議論が進展すれば逐次この審議会に報告する。</li> <li>・ 小中一貫校と中学校再編の関係は、今後の審議会の中で論点を整理したものを示し、理解を得た上で審議を進めていきたい。</li> <li>・ 市教委としては、他の要因が入ってくれば考える必要があるが、第一に田川市の子どもたちの教育環境をしっかりと整えていくという考えである。</li> </ul>
<p>[審議資料 3] 田川市立中学校の現状</p>	<p><b>【事務局の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内 8 中学校の学級数、生徒数の現状を提示。国の学級編製のルールと田川市が採用している少人数学級編制（35人学級）の仕組みを説明。</li> </ul> <p><b>【委員の質問・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援学級は、障害の種別でクラス分けが行われるとのことだが、対象人数が少ない場合には、種別が異なっても 1 クラスに編制されたり、クラスができなかったりする場合はあるのか。</li> <li>・ 通常の教職員配置に加え、県が加配定数として教職員を配置するケースがあるが、どういう種類のものがあるのか。</li> <li>・ 1 クラス 35 人編製のルールでは、1 学年 36 人なら 18 人で 2 クラス、35 人なら 35 人で 1 クラスとなる。少人数指導のほうがよいと聞くが、この差を市教委はどう考えているか。</li> </ul> <p><b>【事務局の回答・意見】</b></p> <p>（特別支援学級について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほとんどのケースが、知的または情緒区分のクラスの設置となるのが、2 つを混合で設置することはない。対象者が 1 名でクラスを新設する場合には、県が教職員の配置に慎重になるケースがある。</li> </ul>

審議事項	審議内容
	<p>(加配定数について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、現状では福岡県は学力が厳しいことを理由に、県が福岡学力アップ事業として非常勤講師を配置している。これにより田川市にも、学力の課題が大きい中学校に国語科と数学科で非常勤講師が配置されている。ただし恒久的な配置ではないので次年度以降も配置される保障はない。なお、市内全中学校に国語、数学で非常勤講師を配置しようとしても免許所持者(教員)が足りない状況である。</li> </ul> <p>(35人編制と少人数指導について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際の授業では、習熟度別にクラスを小分けして授業を行うケースがあるので、かならずしも学級編制の人数が授業を受ける単位ではない。しかし、小規模校では教員数が少ないので習熟度別で授業を行うことが難しくなる。</li> </ul>
<p>[審議資料3] 田川市の教職員配置の問題</p>	<p><b>【事務局の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市費で雇う教員を増やしても、長期的には安定した指導基盤ができない。小規模校が多いと、高い指導力の教員を均等に配置することが難しく、指導に支障をきたすことがある。小規模校では新規採用教職員が配置されにくく、教員の世代に偏りが生じている。等の問題を説明。</li> </ul> <p><b>【委員の質問・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の年齢層がこれほど50代に偏っていれば、10年後に小規模校で新規採用された教職員は相談できるベテラン職員がいない状況になるのか。</li> </ul> <p><b>【事務局の回答・意見】</b></p> <p>(新規採用教職員について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新採教職員には必ず指導教員がつくことになるが、小規模校のため指導教員を置けない場合がある。その場合、他校から指導の時間だけ指導教員が来ることになるが、望ましい体制ではない。</li> </ul>
<p>[審議資料4] 学力の実態</p>	<p><b>【事務局の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田川市立中学校の学力の現状を提示。標準学力検査CRT及び全国学力テストの結果を全国平均と比較。平均を大きく下回っている現状を説明。</li> </ul> <p><b>【委員の質問・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一部の生徒だけでなく、全体として学力が低いという結果であり、根本的な対策を考える必要がある。原因の分析も審議会での今後のテーマとなる。</li> </ul>
<p>[審議資料5] アンケートの実施について</p>	<p><b>【事務局の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広く市民の意見を聴くためにアンケート調査を実施することについて、審議会の意向(実施の是非)を確認したい旨を説明。</li> </ul> <p><b>【委員の質問・意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年市教委が公表した基本方針のなかで、広く市民の意見を聴取するとある。再編の動きを周知するためにも実施すべきではないか。</li> <li>この先中学校に通うことになる未就学児の世帯に実施することは重要なので、未就学児全世帯の実施をお願いしたい。</li> </ul> <p><b>【決定事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査の実施を決定。(内容の審議は次回に繰り越し)</li> </ul>